

「超高速ネットワークを利用したアジア遠隔医療プロジェクト」AQUA (Asia-Kyushu Advanced Medical Network)活動報告

清水, 周次
九州大学病院

中島, 直樹
九州大学病院

<https://doi.org/10.15017/8299>

出版情報 : 「超高速ネットワークを利用したアジア遠隔医療プロジェクト」 TEMDEC活動報告. 1, pp.1-116, 2005-04. AQUA事務局

バージョン :

権利関係 :

3) 写真レポート

#1 IT ウィーク 2003.2.12

<p>【イベント名】 IT ウィーク</p>	<p>【概要】</p> <p>九州大学病院と韓国の漢陽大学病院のスタッフの遠隔交流を図るとともに、内視鏡映像の配信実験を行った。医療チームの初めてのイベントであり、内視鏡室のナースを中心に計画が立てられた。</p>
<p>【期日】 2003.2.12</p>	
<p>【会場】 九州大学病院 - 漢陽大学病院</p>	
	
<p>医療スタッフ交流の様様</p>	<p>九州大学病院の参加者</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>Hahm JS 教授による挨拶</p>	<p>内視鏡映像の配信実験の様様</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>漢陽大学病院の参加者</p>	<p>九州大学病院側からの内視鏡映像</p>
<p>撮影場所：漢陽大学病院</p>	<p>撮影場所：漢陽大学病院</p>

#3 ライブ手術中継（胃） 2003.8.22

<p>【イベント名】 手術映像（胃）のライブ中継</p>	<p>【概要】 九州大学病院から韓国国立癌センターへ内視鏡手術映像の配信を行い、意見交換を行った。この様子は初めてマスコミへも公開され、新聞・雑誌やテレビなどへ報道された。一般の方へも我々の活動を知ってもらいたい良いチャンスとなった。</p>
<p>【期日】 2003.8.22</p>	
<p>【会場】 九州大学病院 - 韓国国立癌センター</p>	
	
<p>九州大学病院の様相</p>	<p>九州大学病院の参加者</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>会場には3つのスクリーンを配置</p>	<p>田中雅夫教授と清水周次助教授による司会進行</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>手術の様子</p>	<p>手術の様子</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>

#5 アジア太平洋医療情報学会 (APAMI) 2003.10.21

<p>【イベント名】 アジア太平洋医療情報学会 2003 (APAMI 2003)</p>	<p>【概要】 DVTSを使用した本プロジェクトにおける初めての学術学会場への遠隔参加。九州大学からは看護師スタッフがプレゼンテーションを行い、その後日韓でディスカッションを行った。またソウルからも遠隔で挨拶が行われた。</p>
<p>【期日】 2003.10.21</p>	
<p>【会場】 Hotel Inter-Burgo (大邱) - 九州大学病院</p>	
	
<p>APAMI 2003 の会場</p>	<p>九州大会場の参加者</p>
<p>撮影場所：Hotel Inter-Burgo (大邱)</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>Kang CH教授の遠隔挨拶と司会者Kim YW医師、中島直樹医師の挨拶</p>	<p>日韓自動翻訳システム付の“Virtual Lecture”を使用</p>
<p>撮影場所：Hotel Inter-Burgo (大邱)</p>	<p>撮影場所：Hotel Inter-Burgo (大邱)</p>
	
<p>Hotel Inter-Burgo (大邱) のカンファレンス風景</p>	<p>九州大学病院会場のカンファレンス風景</p>
<p>撮影場所：Hotel Inter-Burgo (大邱)</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>

#6 ライブ手術中継（大腸） 2003.11.5

<p>【イベント名】 手術映像（大腸）のライブ中継</p>	<p>【概要】 韓国国立癌センターから九州大学病院へ内視鏡手術映像の配信を行い、意見交換を行った。韓国側からライブで手術を配信したのは、このイベントが初めてである。</p>
<p>【期日】 2003.11.5</p>	
<p>【会場】 九州大学病院 - 韓国国立癌センター</p>	
	
<p>九州大学病院の様様</p>	<p>九州大学病院の参加者</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>韓国からの手術映像</p>	<p>韓国の手術の様子</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>記録用スタッフ</p>	<p>韓国からの手術映像</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>

#7 ライブ手術中継（脳外科） 2003.11.25

<p>【イベント名】 手術映像（脳外科）のライブ中継</p>	<p>【概要】 韓国の漢陽大学病院から九州大学病院へ脳外科手術映像の配信を行い、脳外科手術に関する意見交換を行った。九州大学側からの専門的な助言により、韓国側の手術は無事終了した。</p>
<p>【期日】 2003.11.25</p>	
<p>【会場】 九州大学病院 - 漢陽大学病院</p>	
	
<p>日本側会場の模様</p>	<p>韓国からの脳外科手術映像</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>名取良弘講師と中島直樹講師による司会進行</p>	<p>コメンテーターとして意見を述べる名取良弘講師</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>九州大学病院の参加者</p>	<p>韓国からの脳外科手術映像</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>

#8 アジア太平洋先端ネットワーク (APAN) @ハワイ 2004.1.29

<p>【イベント名】 第17回アジア太平洋先端ネットワーク 会議ハワイ (APAN Hawaii)</p>	<p>【概要】 米国を含む初めての多地点同時中継イベント。東京ーハワイ間回線にはIPv6を用いた。各ステーションからのプレゼンテーションに加え、漢陽大学病院からは手術室の様子が伝えられた。</p>
<p>【期日】 2004.1.29</p>	
<p>【会場】 ハワイ大学 (ホノルル) - 九州大学病院 - 国立がんセンター (東京) - 漢陽大学病院 (ソウル)</p>	
	
<p>水島洋先生による発表</p>	<p>Kim YW医師による発表</p>
<p>撮影場所：APANハワイ会場</p>	<p>撮影場所：APANハワイ会場</p>
	
<p>ハワイ会場のカンファレンス風景</p>	<p>モニター上の4ステーション</p>
<p>撮影場所：APANハワイ会場</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>九州大学病院のカンファレンス風景</p>	<p>ソウルからChoi HS医師による説明</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>

#9 内視鏡的逆行性膵・胆道造影ライブ中継 2004.2.24

<p>【イベント名】 内視鏡検査（ERCP）のライブ中継</p>	<p>【概要】</p>
<p>【期日】 2004.2.24</p>	<p>初めての内視鏡検査（ERCP）のイベントが行われた。透視室から透視や内視鏡映像の配信を行い、それらの画像に関する意見交換を行った。また挿入のテクニカルな問題や使用器材などについても議論が交わされた。</p>
<p>【会場】 九州大学病院 - 漢陽大学病院</p>	
	
<p>事前設定作業の様様</p>	<p>清水周次助教授による意見交換の様子</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>コメントを述べる許斐裕之医師</p>	<p>モニター上の日韓両国会場の様様</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>九州大学透視室での検査の様様</p>	<p>川本雅彦医師による器材に関する説明の様子</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>

#10 ライブ手術中継（脳外科） 2004.5.25

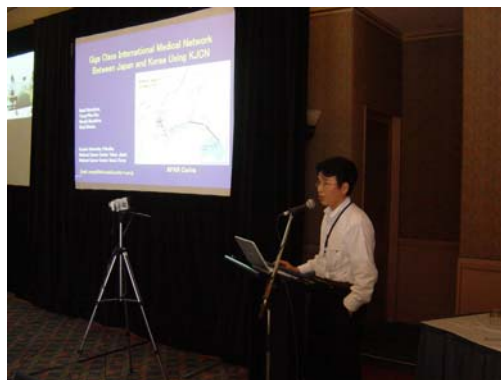
<p>【イベント名】 脳外科手術のライブ中継</p>	<p>【概要】 聴神経腫瘍に対する手術が九州大学病院から韓国ソウル市の漢陽大学へライブ中継された。日本側は名取良弘講師、韓国側はYang Ko 教授の司会により会は順調に進められた。</p>
<p>【期日】 2004.5.25</p>	
<p>【会場】 九州大学病院 - 漢陽大学病院</p>	
	
<p>脳外科手術室の隣にある準備室を会場とした。</p>	<p>名取良弘講師がレントゲン写真で病状を説明</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>モニターには手術画像と韓国側のスタッフが見える。</p>	<p>名取良弘講師がグラフを使い手術成績を説明</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>手術部位を指で特定しながらディスカッション</p>	<p>このイベントに用いられた通信映像機器</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>

#11 移植カンファレンス 2004.5.31

<p>【イベント名】 腎移植テレカンファレンス</p>	<p>【概要】 日韓における最新の腎移植に関するカンファレンスを行った。パワーポイントを用いたPCプレゼンテーションとディスカッションにより、両国の移植に関する考え方や社会的背景にも大きな違いがあることがわかった。</p>
<p>【期日】 2004.5.31</p>	
<p>【会場】 九州大学病院（南棟9階） － 漢陽大学病院</p>	
	
<p>田中雅夫教授による開会の挨拶</p>	<p>杉谷篤講師によるプレゼンテーション</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>漢陽大学のKwon OJ 教授とのディスカッション</p>	<p>モニターには日韓両ステーションが映し出されている。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>日本側の出席者</p>	<p>会議は和やかな雰囲気の中で行われた。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>

#12 アジア太平洋先端ネットワーク (APAN) @ケアンズ 2004.7.2

<p>【イベント名】 第18回アジア太平洋先端ネットワーク 会議ケアンズ (APAN Cairns)</p>	<p>【概要】 2回目のAPANイベント。ソウル、福岡、東京、ケアンズを結んで、臓移植と1型糖尿病についてネットワークで上で議論された。DVTSの他にバックアップとしてPolycomを用意した。</p>
<p>【期日】 2004.7.2</p>	
<p>【会場】 ケアンズのAPAN会場 - 九州大学病院 - 国立がんセンター (日本) - 国立癌センター (韓国)</p>	



中島直樹講師によるネットワークの説明

撮影場所：APANケアンズ会場



モニター上の4つのステーション

撮影場所：APANケアンズ会場



APANケアンズ会場の参加者

撮影場所：APANケアンズ会場



九州大学病院のカンファレンス風景

撮影場所：九州大学病院



九州大学病院会場の参加者

撮影場所：九州大学病院



APANケアンズ会場のカンファレンス風景

撮影場所：APANケアンズ会場

#13 北海道 NORTH セミナー 2004.7.7

<p>【イベント名】 NORTH セミナー</p>	<p>【概要】 本プロジェクトにおける初の国内イベント。しかしながら福岡と札幌間の距離は1,300kmと非常に長く、JGN2を利用した。NORTH（北海道地域ネットワーク協議会）との間の初めてのネットワークイベントでもあった。</p>
<p>【期日】 2004.7.7</p>	
<p>【会場】 九州大学病院 - 札幌医科大学</p>	
	
<p>九州大学病院会場の参加者</p>	<p>中島直樹講師の遠隔講演</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>辰巳治之教授の遠隔講演</p>	<p>福岡と札幌の間の遠隔カンファレンス</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>札幌からパワーポイントを用いた遠隔発表</p>	<p>モニター上の両会場の画像</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>

#15-1 ロボットセミナー 2004.7.15

<p>【イベント名】 ロボットセミナー</p>	<p>【概要】</p> <p>九州大学病院先端医工学診療部に設置されているダ・ビンチと呼ばれる手術ロボットを用い、操作の実演と共に講演会を行った。またちょうど九州大学病院を訪問していた釜山大学医学部の学生を交え、和やかな雰囲気で開催された。</p>
<p>【期日】 2004.7.15</p>	
<p>【会場】 九州大学病院 - 梨花女子大学</p>	
	
<p>カンファレンスの様子</p>	<p>ロボットを操作する釜山大学の学生さん</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>モニターに写し出される日韓両国の質疑応答の様子</p>	<p>韓国側と話し合う清水周次助教授</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>橋爪誠教授によるプレゼンテーション</p>	<p>講演会の最後にみんな揃って、ハイ・チーズ！</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>

#15-2 ロボットセミナー 2004.7.15

<p>【イベント名】 ロボットセミナー</p>	<p>【概要】</p> <p>九州大学病院先端医工学診療部に設置されているダ・ビンチと呼ばれる手術ロボットを用い、操作の実演と共に講演会を行った。梨花女子大学側では、韓国先端研究ネットワーク（KOREN）への接続を記念した会として企画された。</p>
<p>【期日】 2004.7.15</p>	
<p>【会場】 九州大学病院 - 梨花女子大学</p>	
	
<p>梨花女子大学側のスクリーン</p>	<p>会場には講演会用の垂れ幕も準備された。</p>
<p>撮影場所：梨花女子大学</p>	<p>撮影場所：梨花女子大学</p>
	
<p>梨花女子大学会場から質問に立つKim YW 医師</p>	<p>熱心に講演を聞き入る会場の参加者</p>
<p>撮影場所：梨花女子大学</p>	<p>撮影場所：梨花女子大学</p>
	
<p>梨花女子大学の女性スタッフ</p>	<p>エンジニアスタッフと使用された通信映像機器</p>
<p>撮影場所：梨花女子大学</p>	<p>撮影場所：梨花女子大学</p>

#16 ライブ手術中継（大腸） 2004.7.30

<p>【イベント名】 大腸手術のライブ中継</p>	<p>【概要】 韓国腹腔鏡下大腸・直腸手術研究会主催のワークショップに遠隔で参加。韓国癌センターからライブ中継される手術を見ながら、九州大学病院側から講演およびディスカッションを行った。</p>
<p>【期日】 2004.7.30</p>	
<p>【会場】 韓国国立癌センター - 九州大学病院</p>	



遠隔医療に関するKim YW 医師のプレゼンテーション

マルチ画面で映し出される講堂のスクリーン

撮影場所：韓国国立癌センター

撮影場所：韓国国立癌センター

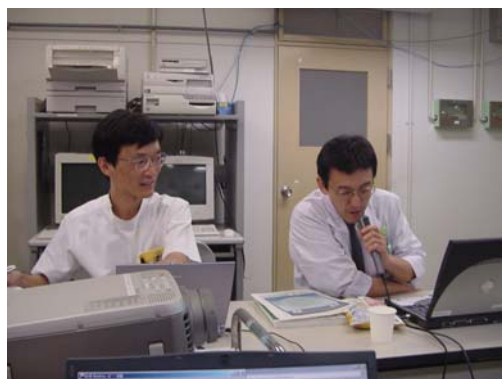


韓国癌センターのセミナー会場

手術室から中継されるJeong SY 医師

撮影場所：韓国国立癌センター

撮影場所：九州大学病院



植木隆医師によるプレゼンテーション

九州大学病院側カンファレンスルームのスクリーン

撮影場所：九州大学病院

撮影場所：九州大学病院

#17 EBウイルス関連疾患の症例検討 2004.8.27

<p>【イベント名】 遠隔症例カンファレンス「EBV 関連疾患」</p>	<p>【概要】 本プロジェクトで初めての遠隔病理イベント。日韓の血液臨床医と血液病理医がネットワーク上でディスカッションした。福岡会場でHDTV (ハイビジョン) のIP (インターネット) 伝送システムを構築し、IP伝送前後の画像を比較するなど、更なる高品質画像の検討も開始した。</p>
<p>【期日】 2004.8.27</p>	
<p>【会場】 九州大学病院 - 韓国国立癌センター</p>	
	
<p>顕微鏡出力のHDTV動画</p>	<p>モニター上の韓国会場</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>高精細モニター上のHDTV動画</p>	<p>顕微鏡画像を用いたディスカッション</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>日本側会場の参加者</p>	<p>日本側会場のカンファレンス風景</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>

#18 EBウイルス関連悪性腫瘍の遠隔病理カンファレンス 2004.8.28

<p>【イベント名】 EBV関連悪性疾患の遠隔病理カンファレンス</p>	<p>【概要】 悪性リンパ腫や胃癌などのEBV関連悪性疾患についてネットワーク上で病理画像を用いてディスカッションを行った。DVTSによる病理画像転送が遠隔プレゼンテーションに耐えうる、と評価された。</p>
<p>【期日】 2004.8.28</p>	
<p>【会場】 九州大学病院 - 韓国国立癌センター</p>	



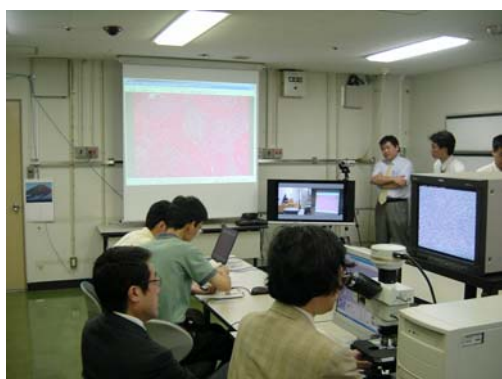
九州大学会場の参加者

撮影場所：九州大学病院



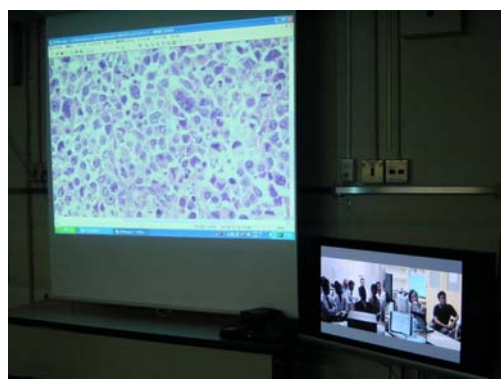
肉眼的臓器イメージ（胃）

撮影場所：九州大学病院



九州大学病院会場のカンファレンス風景

撮影場所：九州大学病院



顕微鏡画像でディスカッション

撮影場所：九州大学病院



韓国会場からの遠隔発表

撮影場所：九州大学病院



九州大学病院会場のカンファレンス風景

撮影場所：九州大学病院

#19 内視鏡テレカンファレンス 2004.9.15

<p>【イベント名】 内視鏡テレカンファレンス</p>	<p>【概要】 内視鏡医療の最新トピックスに関するテレカンファレンス。九州大学病院の矢田親一朗医師からは、ダブルバルーン小腸内視鏡やカプセル内視鏡が紹介された。</p>
<p>【期日】 2004.9.15</p>	
<p>【会場】 九州大学病院 - 漢陽大学病院</p>	
	
<p>矢田親一朗医師によるプレゼンテーション</p>	<p>九州大学病院側の参加者</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>コメントを述べる本田邦臣医師</p>	<p>医療関連企業からの参加も見られた。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>超音波内視鏡に関する新しい知見も紹介された。</p>	<p>日韓双方が同じモニターに写し出されている。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>

#20 日本癌学会 2004.9.30

<p>【イベント名】 第63回日本癌学会（アジア太平洋セッション）</p>	<p>【概要】 KJCN（日韓光海底ケーブル）を用いた日韓の病理テレカンファレンスが日本癌学会のアジア太平洋セッションで行われた。約200人の聴衆を集め、良いネットワークコンディションでイベントが行われた。九大病院と会場の間ではHDTV（ハイビジョン）動画を伝送した。</p>
<p>【期日】 2004.9.30</p>	
<p>【会場】 福岡国際会場（203会議室） － 韓国国立癌センター</p>	
	
<p>座長、牟田耕一郎講師とMutirangura教授による開会の辞</p>	<p>Kim WH教授の韓国からの遠隔講演</p>
<p>撮影場所：福岡国際会議場</p>	<p>撮影場所：福岡国際会議場</p>
	
<p>第63回日本癌学会会場の参加者</p>	<p>韓国会場を含んだパネルディスカッション</p>
<p>撮影場所：福岡国際会議場</p>	<p>撮影場所：福岡国際会議場</p>
	
<p>韓国会場の参加者</p>	<p>九州大学病院から送信されたHDTV画像</p>
<p>撮影場所：福岡国際会議場</p>	<p>撮影場所：福岡国際会議場</p>

#21 アジア太平洋遠隔教育カンファレンス (APRU) 2004.10.12

<p>【イベント名】 APRU 第5回 アジア太平洋遠隔教育カンファレンス</p>	<p>【概要】 本プロジェクトにおける初めての日中医療テレカンファレンス。北京の清華大学が中国側ステーションとなり、陸軍301総病院の外科スタッフと日本側の九州大学病院外科スタッフを結び、消化器外科領域の最近の知見が両ステーション間で紹介された。中国内の回線はCERNETを用いた。</p>
<p>【期日】 2004.10.12</p>	
<p>【会場】 九州大学病院 - 清華大学 (北京)</p>	
	
<p>中国側のカンファレンス風景</p>	<p>中国側からの送信動画像</p>
<p>撮影場所：清華大学</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>日本側のカンファレンス風景</p>	<p>日本側からの遠隔発表</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：清華大学</p>
	
<p>中国側からの遠隔発表</p>	<p>テレカンファレンスにおける議論</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>

#22 腹腔鏡下胃切除術セミナー 2004.10.22

<p>【イベント名】 胃癌内視鏡手術のライブ中継</p>	<p>【概要】 九州大学病院から腹腔鏡下幽門側胃切除術の様子を韓国側へライブで中継した。このワークショップは、韓国の腹腔鏡下胃切除術手術手技研究会により企画・施行された。</p>
<p>【期日】 2004.10.22</p>	
<p>【会場】 九州大学病院 - 韓国国立癌センター</p>	
	
<p>九州大学病院のカンファレンスルーム</p>	<p>マルチ画面で映し出される九州大学病院側のモニター</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>コメントを述べる永井英司医師</p>	<p>3つのスクリーンを有する九州大学会場</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>ライブ手術が行われている九州大学病院の手術室</p>	<p>このイベントに使用された映像通信機器</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>

#24 超音波内視鏡ライブ中継 2004.11.15

<p>【イベント名】 超音波内視鏡のライブ中継</p>	<p>【概要】</p>
<p>【期日】 2004.11.15</p>	<p>九州大学病院から韓国癌センターへ超音波内視鏡の様子が初めてリアルタイムで中継された。胃の粘膜下腫瘍に対する穿刺吸引細胞診が、本疾患の正確な診断を得るために有用な手技であることが紹介された。</p>
<p>【会場】 九州大学病院 - 韓国国立癌センター</p>	



内視鏡の手技を説明する松井謙明医師

撮影場所：九州大学病院



医学部学生もディスカッションに参加した。

撮影場所：九州大学病院



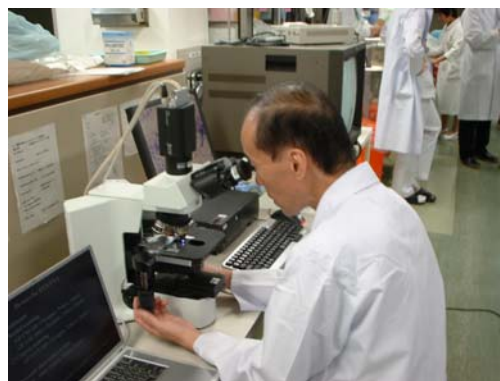
内視鏡検査の様子

撮影場所：九州大学病院



こちらの様子はビデオカメラで撮影された。

撮影場所：九州大学病院



採取された材料は染色の後、直ちに診断された。

撮影場所：九州大学病院



モニターを用い細胞診の結果がスタッフに説明された。

撮影場所：九州大学病院

#26 拠点大学プログラムセミナー 2004.11.25

<p>【イベント名】 第4回拠点大学交流事業／第16回 ITRC会議（大田）</p>	<p>【概要】 忠南大学と九州大学病院の間の初めてのイベントが、ITRCと拠点大学交流事業の共催会議の中で行われた。九州大学病院会場には、慶尚大学病院からのゲストが見学を訪れ、遠隔医療システムの説明とイベントの見学を行い、韓国側にも質問をおこなった。</p>
<p>【期日】 2004.11.25</p>	
<p>【会場】 九州大学病院 - 忠南大学</p>	
	
<p>慶尚大学からのゲストへのプロジェクト説明</p>	<p>モニター上の九州大学病院の様子</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：忠南大学</p>
	
<p>座長の清水周次助教授</p>	<p>福岡-大田間のディスカッション</p>
<p>撮影場所：忠南大学</p>	<p>撮影場所：忠南大学</p>
	
<p>九州大学からの遠隔講演</p>	<p>慶尚大学からのゲストによるコメント</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>

#28 胆膵領域のテレカンファレンス 2004.12.17

<p>【イベント名】 胆膵領域のテレカンファレンス</p>	<p>【概要】 肝胆膵領域の疾患に関するテレカンファレンスが初めて行われた。DV4と呼ばれる機器を使用し、画質を保持したまま、3地点にデジタル画像を配信した。</p>
<p>【期日】 2004.12.17</p>	
<p>【会場】 九州大学病院 - 梨花女子大学 - ソウル国立大学ブンダン病院</p>	
	
<p>山口幸二助教授によるプレゼンテーション</p>	<p>九州大学病院カンファレンスルーム</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>九州大学病院の参加者</p>	<p>3地点の映像が映し出されるスクリーン</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>九州大学病院に設置されているプラズマモニター</p>	<p>九州大学病院のカンファレンスルーム</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>

#31 内視鏡手術テレカンファレンス 2005.1.21

<p>【イベント名】 内視鏡手術のテレカンファレンス</p>	<p>【概要】 胃および大腸の内視鏡手術に関するカンファレンスが行われた。ちょうど九州大学病院を訪れていた韓国サムソン病院の医師と看護師が、カンファレンスに参加した。</p>
<p>【期日】 2005.1.21</p>	
<p>【会場】 九州大学病院 - ソウル国立大学ブندان病院</p>	
	
<p>カンファレンスルームの様子</p>	<p>植木隆医師によるプレゼンテーション</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>手術を見学するサムソン病院のスタッフ</p>	<p>切除標本を観察するサムソン病院スタッフ</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>九州大学病院スタッフとサムソン病院の看護師</p>	<p>サムソン病院スタッフと共に記念写真撮影</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>

#32-1 アジア太平洋先端ネットワーク (APAN) @バンコク 2005.1.26

<p>【イベント名】 第19回アジア太平洋先端ネットワーク 会議バンコク (APAN Bangkok)</p>	<p>【概要】 タイのバンコクで開催されたアジア太平洋先端ネットワーク会議で行われた医療会議。4カ国をDVTSで接続し、最新の内視鏡手術とアジア地域に特異的な血液疾患に関するカンファレンスが行われた。</p>
<p>【期日】 2005.1.26</p>	
<p>【会場】 バンコク- 福岡- ソウル- 北京 4カ国ライブ中継</p>	
	
<p>学会会場の様子</p>	<p>後方からの学会会場の様子</p>
<p>撮影場所：バンコク学会会場</p>	<p>撮影場所：バンコク学会会場</p>
	
<p>4地点がスクリーンに映し出されている。</p>	<p>内視鏡手術の様子が画面を通して説明された。</p>
<p>撮影場所：バンコク学会会場</p>	<p>撮影場所：バンコク学会会場</p>
	
<p>ライブ配信の準備に忙しい通信スタッフ</p>	<p>学会会場のエンジニアスタッフ</p>
<p>撮影場所：バンコク学会会場</p>	<p>撮影場所：バンコク学会会場</p>

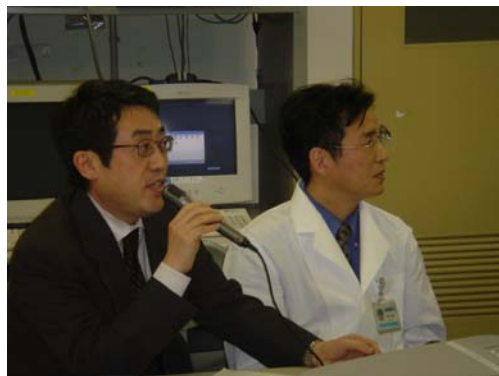
#32-2 アジア太平洋先端ネットワーク (APAN) @バンコク 2005.1.26

<p>【イベント名】 第19回アジア太平洋先端ネットワーク 会議バンコク (APAN Bangkok)</p>	<p>【概要】 タイのバンコクで開催されたアジア太平洋先端ネットワーク会議で行われた医療会議。4カ国をDVTSで接続し、最新の内視鏡手術とアジア地域に特異的な血液疾患に関するカンファレンスが行われた。</p>
<p>【期日】 2005.1.26</p>	
<p>【会場】 バンコク- 福岡- ソウル- 北京 4カ国ライブ中継</p>	



九州大学病院会場の様子

撮影場所：九州大学病院



自己紹介を行う 牟田耕一郎講師と中島直樹講師

撮影場所：九州大学病院



プレゼンテーションを行う 牟田耕一郎講師

撮影場所：九州大学病院



テレカンファレンスが進行する九州大学病院会場

撮影場所：九州大学病院



九州大学病院の参加者

撮影場所：九州大学病院



4地点の映像が映し出されるスクリーンとモニター

撮影場所：九州大学病院

#33 胆膵疾患に関する臨床・病理カンファレンス 2005.2.17

<p>【イベント名】 胆膵疾患の臨床・病理カンファレンス</p>	<p>【概要】 胆膵疾患に関する臨床・病理カンファレンスが九州大学病院とブンダン病院との間で初めて行われた。診断・手術・術後病理診断までの一連の流れが、それぞれの会場から発表された各一題の演題を通して、活発に討議された。</p>
<p>【期日】 2005.2.17</p>	
<p>【会場】 九州大学病院（南棟9階） - ソウル国立大学ブンダン病院</p>	
	
<p>田中雅夫教授による開会挨拶</p>	<p>手術所見を説明する森泰寿医師</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>九州大学会場の参加者</p>	<p>九州大学会場でのカンファレンスの模様</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>放射線画像に関する討議が進行中</p>	<p>プラズマモニターに写し出される両会場の様子</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>

#35 膵・膵島移植研究会 2005.3.18

<p>【イベント名】 膵・膵島移植研究会</p>	<p>【概要】 第32回膵・膵島移植研究会が九州大学病院の百年記念講堂で開催された。ソウル国立大学ブندان病院、台北榮民総医院、清華大学の4地点を接続し、各地点より発表がなされた。距離を越えて質疑応答が行われ、最新の情報が交換された。</p>
<p>【期日】 2005.3.18</p>	
<p>【会場】 福岡ーソウルー台北ー北京 4地点遠隔カンファレンス</p>	
 <p>第32回膵・膵島移植研究会 第2回九州・沖縄地区膵腎移植研究会 Teleconference —アジアにおける膵・膵島移植の現状と問題点— Live broadcast connecting Beijing Fukuoka Taipei Seoul</p>	
<p>研究会の広報用スクリーン</p>	<p>学会会場の様子</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>杉谷篤講師による講演の様子</p>	<p>遠隔カンファレンスを司会する清水周次助教授</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>福岡会場から韓国会場へ質問が出された。</p>	<p>技術者スタッフと映像通信機器</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>